

第2学年

標準学力検査CRTの学年全体の結果（概要）

●平均得点率

※「関心・意欲・態度」をのぞく、国語4観点、その他3観点で集計。

教科	国語	社会	数学	理科	英語
五十鈴中	64.5	67.2	62.4	69.7	76.4
全国	63.0	62.1	56.8	63.3	69.0
全国比	102	108	110	110	111

●観点別得点率

教科	国語				社会				数学				理科				英語						
	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解・技能	社会的・意欲・態度	社会的・判断・表現	資料活用・技能	社会的・理解	知識・理解	関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	数量や図形などについて	自然現象への理解	科学的・意欲・態度	科学的な思考・表現	観察・実験の技能	自然現象についての理解	知識・理解	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力
五十鈴中	65.9	69.6	63.2	63.4	61.2	64.2	62.9	72.8	66.1	65.8	56.1	64.6	66.8	71.4	64.1	78.3	67.0	69.1	77.9	69.1	77.9	80.3	71.0
全国	66.5	69.4	62.5	58.1	61.7	65.1	58.3	66.6	61.3	63.1	49.1	58.7	62.7	67.2	57.6	72.8	59.5	65.0	69.1	75.0	62.8		
全国比	99	100	101	109	99	99	108	109	108	104	114	110	107	106	111	108	113	106	113	107	113		

【得点率】

(正答数÷満点数) × 100で算出します。

※全問正解で100となります。

【全国比】

(五十鈴中の得点率÷全国平均得点率) × 100で算出します。

※五十鈴中の平均得点率が全国平均得点率と同じ場合は、全国比が100となります。

※五十鈴中の平均得点率が全国よりも高い場合は、全国比が100より大きくなります。

【満点数(全問題数)】

国語：59問、社会：51問、数学：53問、理科：55問、英語：61問

※「関心・意欲・態度」を除く、国語4観点、その他3観点の問題数。

◇学年全体の状況

- 全教科の平均得点率が全国平均得点率以上であり、学年全体として、中学校1年段階での学習内容の定着状況は全国平均以上と見られます。特に、社会、数学、理科、英語では、それぞれ5ポイント以上全国を上回っており、学習内容の定着状況が良好であると見られます。国語では、全国平均を上回るポイントが1.2にとどまっており、基礎的・基本的な知識・技能を更に身に付けるよう学習することが大切です。
- 観点別得点率では、国語の「関心・意欲・態度」、「知識・理解・技能」、社会の「関心・意欲・態度」で全国平均を下回ってはいるものの、いずれも1ポイント未満とわずかです。それ以外は、全教科の全観点で得点率が全国平均を上回っています。全国平均を大きく上回っている観点は、数学の「見方や考え方(+7.0)」、理科の「知識・理解(+7.5)」、英語の「表現の能力(+8.8)」と「知識・理解(+8.2)」であり、特に学習内容の定着状況が良好であると見られます。
- ◎ 今後、各教科の学習への関心・意欲・態度を大切にしながら、授業では学習規律を守り、家庭では学習習慣や基本的な生活習慣を身につけ、良い所はさらに伸ばし、課題を克服する取組を進めることが大切です。特に、国語の「話す・聞く能力」、「書く能力」などを中心として、これまでの学習内容の振り返りを行い、基礎的・基本的な学習内容の一層の定着につなげる必要があります。